

施策評価調書(1)

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

めざす姿	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”
施策名	1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出
施策関係課	(建設部)公園課／(都市計画部)みどり課

●施策の基本方針(目標)
本市に広がる貴重で豊かな自然環境を守り、市民が自然を身近に感じながら生活できるよう、水と緑に親しめる憩いとやすらぎの空間を創出します。

●目標指標							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅳ－1)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	51.7(令和2年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	51.000	57.600	45.600	40.900	0.000	
指標②	名称	親水護岸の整備延長				単位	m
	目標値	3,240(令和7年度)	現状値	2,110(令和元年度)		指標の種別	活動
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	2,172.000	2,172.000	2,191.000	2,204.000	0.000	
指標③	名称	保全すべき緑地の確保				単位	m ²
	目標値	200,000.00(令和7年度)	現状値	185,003.32(令和元年度)		指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	182,190.080	182,257.200	182,257.200	166,570.330	0.000	
指標④	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
	事業費	480,494	810,114	751,186	676,000	997,925
	概算人件費	65,649	63,987	65,649	67,311	56,855
	総事業費	546,143	874,101	816,835	743,311	1,054,780

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	A	単位施策①	単位施策②	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	A			55.0	

施策評価調書(2)

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位: 千円)

単位施策名	① 水辺環境の整備
-------	-----------

単位施策名	② 緑地環境の整備								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性	
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費			
緑地保全事業	都市計画部 みどり課	21,646	18,670	20,678	19,407	28,188	54	現状維持で実施	
		31,600	30,800	31,600	32,400	19,339			
保全緑地等公有地化事業	都市計画部 みどり課	38,628	200,496	4,180	51,070	115,719	58	拡充して実施	
		7,900	7,700	7,900	8,100	10,043			
都市公園指定管理者管理費	建設部 公園課	347,637	347,637	347,637	530,687	530,687	56	拡充して実施	
		1,580	1,540	1,580	1,620	1,660			
荒川運動公園施設運営費	建設部 公園課	14,173	36,689	43,239	48,499	63,090	54	現状維持で実施	
		8,374	8,162	8,374	8,586	8,798			
公園等公有地化事業	建設部 公園課	46,176	193,201	320,849	15,682	245,290	54	現状維持で実施	
		1,975	1,925	1,975	2,025	2,075			
緑化推進事業	都市計画部 みどり課	12,234	13,421	14,603	10,655	14,951	54	現状維持で実施	
		14,220	13,860	14,220	14,580	14,940			

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	緑地保全事業				担当	都市計画部	
						みどり課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-242-5721	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	59	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、同施行規則、川口市緑の基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部補助金・負担金		
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)			
	総合計画、緑の基本計画に位置付けられた緑地の保全及び維持管理。市内に残る身近な緑や優れた景観を構成する都市緑地等の保全を図り、市民へ潤いと安らぎのある生活空間の提供。		良好な緑地等を保全することにより、精神的・身体的な健康の増進、コミュニティの醸成、緑地が持つ多様な機能が発揮される都市の実現。			
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)			
	①保全緑地等奨励金支給②保存樹木等維持管理経費補助金、自然再生活動団体活動助成金交付③生産緑地所有者指導、指定・買取申出等申請受付④都市計画変更手続⑤安行近郊緑地保全区域・安行武南自然公園区域届出受理⑥保全緑地整備工事、緊急対応工事		①保全緑地66,664㎡、保存樹木188本、保存生垣1,750m②保全緑地5件、保存樹木6件・8団体③追加指定1件、買取申出22件、市買取1件④生産緑地地区変更24地区⑤安行近郊緑地保全区域届出52件 ⑥工事6件			
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題			
	・緑地空間の質の改善。(良好な緑地空間の形成が図られた。) ・緑地の重要性に関する価値観が醸成された。 ・都市緑地等の保全が図られた。 ・適正な維持管理の実現。 ・将来的な維持管理費の削減。		①②概ね計画通り達成③近年の気候変動による樹木等の枯死、宅地開発による近隣からの要望により、管理負担増加が著しく存続が困難になっている。また自然再生団体構成員の高齢化や猛暑、樹木の大径木化により活動が困難になってきており、委託業務との併用を考慮した維持管理計画の必要性が高まっている。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	保存樹木等管理経費補助制度			指標・目標値の説明(算定式)	市条例に基づき指定した保存樹木等の所有者又は管理者からの申請件数					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況	13.00	達成	13.00	達成	11.00	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	5 目	3 細目	1 細々目	緑地保全事業			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		19,904		22,948		22,611		28,188		28,188		
決算額(B)=(C)+(D)		18,670		20,678		19,407						
財源※	特定財源(C)	2,050		3,554		3,004		6,010				
	一般財源(D)	16,620		17,124		16,403		22,178				
概算人件費(E)		30,800		31,600		32,400		19,339		19,339		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	2.33	0.00	2.33 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	49,470		52,278		51,807		47,527		47,527		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性	
54 /60	保全緑地、生産緑地においてはパトロールを実施し、苦情の未然防止及び保全緑地等維持管理経費補助の周知を実施し、緑地空間の質の向上に努める。また、公有地においては隣地境界への防草シート敷設や間伐等計画的に実施する事で緊急対応費の削減及び安全性の向上を図る。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	保全緑地等公有地化事業				担当	都市計画部	
						みどり課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-242-5721	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	2	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、同施行規則、川口市緑の基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	総合計画、緑の基本計画に位置付けられた緑地について、市条例により保全を実施しているが、相続や開発等により減少している。重要な緑地を公有地化、永続的に保全し、市民に潤いと安らぎをもたらす空間の確保。		地域の実情に応じた緑地の確保を進め、環境への負荷を軽減するとともに、緑地の質の向上を図ることで都市のレジリエンスの向上等、緑地が持つ多様な機能が発揮される都市の実現。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・用地購入(安行領家、県1/2・市1/2購入) ・測量業務委託(安行赤堀斜面林保全緑地、西新井宿松山保全緑地) ・湧水調査委託(安行赤堀斜面林保全緑地) ・保全緑地台帳作成業務委託(4箇所) ・特別緑地保全地区都市計画変更図書作成委託		・用地購入による公有地化:県と市購入合計面積406.88㎡ ・測量業務委託:安行赤堀斜面林保全緑地3,135,000円、西新井宿松山保全緑地7,964,000円 ・湧水調査委託:8,800,000円 ・保全緑地台帳作成委託:13,992,000円 ・特別緑地保全地区都市計画変更図書作成委託:498,300円		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・用地購入による保全緑地の公有地化率の向上(35.4%) ・公有地増加のための準備の推進 ・自然災害による影響軽減の実現のための準備の推進 ・適正な維持管理実現のための準備の推進 ・国、県補助事業活用のための準備の推進		①②概ね計画通り達成。一部用地購入において地権者の意向により、先送りになる場合がある。③近年の気候変動により風雨、土砂災害等の事前対策が急務。都市の緑について量だけではなく質について重視する国の方針が示され、補助制度においても緑地の機能維持増進事業補助が拡充された為、これらを活用し、対策を進める必要がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	保全緑地公有地化面積				指標・目標値の説明(算定式)	緑の基本計画において、重要な緑の骨格に位置付けられている安行台地の斜面林等を中心に、豊かな自然環境を維持・保全する拠点及び緑の保全エリアの保全緑地を公有地化した面積。					
	単位	㎡	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		5,676.31		1,252.94		406.88		3,916.09		3,916.09		
	実績値・達成状況	5,676.31		118.62		406.88	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	5 目	6 細目	1 細々目	保全緑地等公有地化事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		212,560		54,458		52,642		115,719		115,719	
決算額(B)=(C)+(D)		200,496		4,180		51,070					
財源※	特定財源(C)	190,242		4,116		51,000		115,000			
	一般財源(D)	10,254		64		70		719			
概算人件費(E)		7,700		7,900		8,100		10,043		10,043	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.21	0.00	1.21	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	208,196		12,080		59,170		125,762		125,762	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性	
58 ／60	重要な緑地を地域の実情に合わせ公有地化、永続的に保全する為、用地購入や大規模整備に国、県の補助事業及び川口市環境みどり基金を充当し、一般財源削減に努める。また、適正に維持管理し、質の向上を図るため、管理台帳を整備し、計画的に更新・維持管理することで良好な環境維持及び、ランニングコストの平準化・削減を図る。				翌年度	拡充して実施
					翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	都市公園指定管理者管理費				担当	建設部	
						公園課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6337	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供する。	公園利用者に安心して快適に公園を利用できる。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	各指定管理者が対象公園の維持管理業務を実施 ・樹木管理 ・除草 ・清掃 ・遊具点検 ・簡易な修繕	公園維持管理業務 ・川口市公園緑地公社…18公園 ・川口市造園業協会…17公園 ・テラヤマ…1公園	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供することができた。	引き続き公園の安全性と快適性の維持管理を整える必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		8 款	4 項	11 目	2 細目	2 細々目	都市公園指定管理者管理費			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			347,637		347,637		530,687		530,687		569,170		
決算額(B)=(C)+(D)			347,637		347,637		530,687						
財源※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		347,637		347,637		530,687		530,687				
概算人件費(E)			1,540		1,580		1,620		1,660		1,660		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費〔(A)又は(B)〕+(E)			349,177		349,217		532,307		532,347		570,830		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	公園利用に対するニーズは高まっており、公園利用者の安全性と快適な利用環境を引き続き整える必要がある。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	荒川運動公園施設運営費				担当	建設部	
						公園課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6337	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	29	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	ドッグラン、バーベキュー場、駐車場及び親水護岸の利用者に対し、快適な施設の利用環境を提供すること。		荒川運動公園の施設の利用環境の整備		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	施設維持管理業務 ・バーベキュー場運営委託 ・トイレ管理 ・除草管理 ・公園施設修繕		施設維持管理業務 ・バーベキュー場運営委託 → 利用人数 10,901名 売上 29,828千円 ・トイレ管理 → 年開 98日間実施 ・除草管理 → 年間 18回実施 ・公園施設修繕 → バーベキュー場の倉庫2棟更新		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	ドッグラン、バーベキュー場、駐車場及び親水護岸などの荒川運動公園の利用者が施設を快適に利用することができた。		バーベキュー場は夏場の暑さ対策が必要		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	11 目	2 細目	3 細々目	荒川運動公園施設運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		41,429		44,993		48,621		63,090		53,530
決算額(B)=(C)+(D)		36,689		43,239		48,499				
財源※	特定財源(C)	25,646		31,808		29,828		40,485		
	一般財源(D)	11,043		11,431		18,671		22,605		
概算人件費(E)		8,162		8,374		8,586		8,798		8,798
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.06	0.00	1.06	0.00	1.06	0.00	1.06
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		44,851		51,613		57,085		71,888		62,328

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	安全を確保したうえで利用者が快適に過ごせる環境を継続して整えていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	公園等公有地化事業				担当	建設部	
						公園課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6337	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	3	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	現在、民地を一部借り上げて公園としている公園について、公園利用者に対し、引き続き公園利用をしてもらえるように、計画的に用地を購入し、公有地化をする。		用地を恒常的に公園として使用する。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	公園用地購入に伴い、土地鑑定、測量委託等を行った。 ・桜町湧水公園		具体的な土地購入の面積は下記の通りになる。 ・桜町湧水公園 196.48㎡取得	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	用地を公有化することができた。		借地公園はまだ他にも残っており、引き続き計画的に用地購入の交渉を行っていく必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	11 目	12 細目	1 細々目	公園等公有地化事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		295,006		321,055		16,251		245,290		245,290
決算額(B)=(C)+(D)		193,201		320,849		15,682				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		136,200		
	一般財源(D)	193,201		320,849		15,682		109,090		
概算人件費(E)		1,925		1,975		2,025		2,075		2,075
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	195,126		322,824		17,707		247,365		247,365

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 /60	借地公園はまだ他にも残っており、引き続き計画的に用地購入の交渉を行っていく必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	緑化推進事業				担当	都市計画部	
						みどり課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6335	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	48	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、同施行規則、川口市緑の基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民と協働して、緑豊かな都市が実現できるまちづくり		市民が緑に親しめる憩いとやすらぎの創出を目指す	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・建築物を建てる際の緑化指導(500㎡以上3,000㎡未満) ・公園花壇やフラワーロードなどで活動しているボランティア 団体への花の支給や補助金の交付 ・フラワーロードのスポンサー企業・団体の募集 ・生け垣設置、屋上緑化等の補助制度の募集 ・緑化講習会、自然ふれあい教室の開催		・緑化指導件数:69件 ・花支給本数:32,483本、補助金交付件数・金額:7件・1,772,981円 ・スポンサー件数・寄附額:70件・2,070,000円 ・緑化講習会参加者:29名 ・自然ふれあい教室参加者:22名	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・緑化指導により宅地緑化を推進した。 ・緑化ボランティアの活動を通じて緑化が図られた。 ・スポンサー協賛事業により、フラワーロード事業の資金を得られた。 ・講習会などの開催により、緑に対する理解が深まった。		アクション(①)を起こして緑化を推進しているが、開発圧力による都市化やボランティアの新たな担い手不足等の要因による課題がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	緑化ボランティア活動団体数				指標・目標値の 説明(算定式)	公園花壇やフラワーロードなどで草花の植替えや維持管理を行う団体数(基準:95団体)					
	単位	団体	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		95.00		95.00		95.00		95.00		95.00		
実績値・達成状況		81.00	未達成	76.00	未達成	76.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	5 目	2 細目	1 細々目	緑化推進事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		13,683		20,588		16,472		14,951		14,951
決算額(B)=(C)+(D)		13,421		14,603		10,655				
財源※	特定財源(C)	4,607		8,698		4,100		9,100		
	一般財源(D)	8,814		5,905		6,555		5,851		
概算人件費(E)		13,860		14,220		14,580		14,940		14,940
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		27,281		28,823		25,235		29,891		29,891

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	ボランティアの高齢化等により、活動の減少や団体数の減少が生じていることから、事業のPR活動等を実施し活動への新規参加を促進した。引き続き新規ボランティアの登録や効果的な活動につながるよう事業の周知・活動に対する支援を行っていくとともに、ボランティアだけに頼らない緑のまちづくりの方策を検討していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施